

達成度：H25.3.31 の自己評価

- 5 目標を完全に達成した。
- 4 目標を概ね達成した。
- 3 目標を一部達成した。
- 2 目標をほとんど達成できなかった。
- 1 目標をまったく達成できなかった。

住民協働課の目標（平成24年度）自己評価書

住民協働課長 岡野 義広

個別事業とその目標	達成度	目標達成の効果又は達成できなかった理由等
<p>1 住民活動団体の支援</p> <p>地域の活性化や課題等に取り組むための、住民団体等の自由で自発的な公益活動に対する住民提案型の住民公益活動補助金の交付や、井戸端（酒々井町交流サロン）・ミーティングルームなど活動拠点の支援により住民活動団体の活性化を図るとともに、住民活動団体交流会を通じてその活動状況を広め、団体どうしの連携強化を図ります。</p> <p>2 住みよい地域づくりの推進</p> <p>もっとも身近な住民組織の自治会等と行政は、地域住民の住みよい環境をつくるという目的を共有しており、住民と行政との協働による地域づくりを一層推進していくため、自治会等の運営について支援します。</p>	<p>3</p> <p>4</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・住民公益活動補助金を6団体へ交付しました。 ・交流サロンの団体利用率が上昇した。 ・住民活動団体交流会を年間2回開催し、延べ44名、29団体の参加がありました。 ・「酒々井の魅力あるまちづくりセミナー」を開催し、住民活動団体の事例発表、ワークショップ等の意見交換が交わされ、まちづくり意識の向上、住民交流が図られました。 ・生涯学習課と「盛年式」を開催、交流会から団体の紹介等を行った。このことにより、各団体の活動を町民にPRをすることができ、各団体間の連携を図ることができました。 ・「学びとまちづくりフォーラムin佐野」に参加し（住民活動団体から8名）、他市の取り組みを学ぶとともに交流を深め、町のPRや団体どうしの連携を図ることができました。 ・各地域に地域担当員を配置し、住民と行政の緊密な関係が築けました。 ・各自治会に自治振興助成金を交付しました。（36団体）

<p>3 協働意識の普及と啓発</p> <p>公共や公益を担い支えるのは行政だけではなく、住民等との協働のうえに成り立つという意識を持ち、協働のまちづくりへの理解を深めるための講演会や研修会を実施します。</p> <p>また、住民と行政の協働活動として、公園等愛護活動推進事業や資材等支給事業を推進します。</p> <p>4 高齢者・団塊世代の生きがい就業支援</p> <p>高齢者や団塊の世代の社会参加と生きがい就労を目的とした「酒々井町シルバー人材センター」の運営を支援します。</p> <p>5 男女共同参画社会形成の促進</p> <p>男女共同参画社会形成についての理解を深めるため、県から委嘱される地域推進員と協力して啓発事業や情報提供を行い、男女共同参画社会形成への意識を高めていきます。</p>	<p>・行政連絡員を各地域（39地区）で委嘱し、自治会と行政のパイプ役として活動していただきました。</p> <p>3 ・協働のまちづくりを推進するため、講師（聖徳大学名誉教授 福留強氏、千葉まちづくりサポートセンター 鈴木優子氏、ちば市民活動・NPO市民事業サポートクラブ代表理事 牧野昌子氏、武蔵大学社会学部メディア社会学科教授 粉川一朗氏）による協働のまちづくり研修会を4回開催しました。</p> <p>4 ・住民と行政の協働活動として、①地域の公園等の環境美化を目的とした公園等愛護活動を実施、公園数12か所11団体の協力を得られました。</p> <p>3 ・町が資材及び機材等を支給し、認定外道路や水路補修などを地域住民自らが施行する資材等支給事業は、昨年実施した地域内の残り部分の道路整備と生活排水の処理、もう1地区は古くから地域住民に親しまれてきた湧水の保全と水路整備を目的とした事業で、両地域とも本事業の導入により格段の環境改善と併せて地域連帯感の向上に繋がったものと考えます。</p> <p>4 ・補助金として140万円を交付しました。</p> <p>4 ・千葉県男女共同参画地域推進員北総地域セミナーの参加運営協力をしました。</p>
---	--

<p>6 地区集会所等への補助 各地区の集会所等に対して管理費及び修繕費を補助します。また、集会所等の増改築及び建築について要望・相談を受けます</p> <p>7 チャレンジ目標</p> <p>① 協働のまちづくりの中長期目標として、住民の自主的な公益活動の環境づくりや、協働の指針づくり等を含んだこれからの酒々井町の協働のあり方について住民と共に検討していきます。</p> <p>② 町の地域資源を活用した酒々井ブランド商品の創出や地域のイメージアップ向上を目指して、「酒々井ブランド創出会議」による町の活性化を検討します。</p>	<p>4</p> <p>3</p> <p>3</p>	<p>・各地区集会所に対して管理費補助金を交付しました。(29施設)</p> <p>・上宿青年館、中央台ハイツ集会所、中川青年館、下岩橋青年館、トヶ崎自治会館、新堀青年館、中央台集会所、柏木青年館(計8か所)に修繕補助金を交付しました。</p> <p>・協働のまちづくりを推進するため、講師(聖徳大学名誉教授 福留強氏、千葉まちづくりサポートセンター 鈴木優子氏、ちば市民活動・NPO市民事業サポートクラブ代表理事 牧野昌子氏、武蔵大学社会学部メディア社会学科教授 粉川一朗氏)による協働のまちづくり研修会を4回開催しました。</p> <p>・商工会、郷土愛護団体、農業団体が「ブランド創出」という目標に協働事業として継続した取組み、「酒々井町を元気にするきっかけづくり」の機運を感じます。一方、平成25年4月開通の酒々井ICや酒々井アウトレットモール開業に合せ、酒々井町を訪れる方々に対し、町の商工業や飲食、観光、特産品などの情報を広く紹介するタウン情報とグルメマップを作成し、地域産業の発展と町のイメージアップに寄与することを期待します。併せて、本事業の導入により失業者1名の雇用が実現しています。</p>
---	----------------------------	---